【東北電力情報 Ｎｏ．４】

より、そう、ちから。 東北電力

平成２９年４月２５日

平成２８年度の電力需給実績について

１．電力需要について（表－1 参照）

平成２８年度の販売電力量は、７４２億５，８００万ｋＷｈ、対前年度比９８．９％の実績となり、前年に比べ夏場後半の気温が高く冬場の気温が低く推移したことによる冷暖房需要の増加があるものの、契約電力の減少などから、前年度実績を下回りました。

用途別の実績については、以下のとおりです。

○電灯

電灯は、前年に比べ夏場後半の気温が高く冬場の気温が低く推移したことによる冷暖房需要の増加などから、対前年度比１０１．３％と前年度実績を上回りました。

○電力

電力は、前年に比べ夏場後半の気温が高く冬場の気温が低く推移したことによる冷暖房需要の増加があるものの、契約電力の減少などから、対前年度比９７．９％と前年度実績を下回りました。

（表－１：販売電力量）

（単位：百万ｋＷｈ、％）

区　　分	当年度 実　績 （A）	前年度 実　績 （B）	前年度比 （A/B）
電　　灯	24,004	23,706	101.3
電　　力	50,255	51,351	97.9
合　　計	74,258	75,057	98.9

※個々の数値の合計と合計欄の数値は、四捨五入の関係で一致しない場合があります。

２．供給力について（表－２参照）

平成２８年度の発受電電力量の合計は、８１０億７，０００万ｋＷｈ、対前年比９８．６％の実績となり、前年実績を下回りました。

（自社水力）

出水率８５．６％の渇水となり、前年出水率を１３．１％下回ったことなどから、発電量は前年を１０億７００万ｋＷｈ下回る６９億１，４００万ｋＷｈとなりました。

（自社火力）

運転状況の違いなどから、発電量は前年を８億６，６００万ｋＷｈ下回る５６３億４，６００万ｋＷｈとなりました。

（自社原子力）

定期検査により、女川原子力発電所の全号機と東通原子力発電所１号機が運転を停止していることから、発電量はありませんでした。

（自社新エネルギー等）

地熱発電所の運転状況の違いなどから、発電量は前年を３，１００万ｋＷｈ下回る、９億ｋＷｈとなりました。

（他社受電）

他社火力の運転状況の違いなどから、他社受電合計では、前年を３億３，７００万ｋＷｈ下回る２２９億４，５００万ｋＷｈとなりました。

（表－２：発受電電力量）

（単位：百万ｋＷｈ、％）

区　分			当年度 実　績 （A）	前年度 実　績 （B）	前年度差 （A-B）	前年度比 （A/B）
自社	水力	自流式	6,382	7,446	-1,064	85.7
		貯･揚水式	532	475	57	111.9
		計	6,914	7,921	-1,007	87.3
	火　力		56,346	57,212	-866	98.5
	原子力		0	0	0	-
	新エネルギー等		900	931	-31	96.7
	合　計		64,160	66,064	-1,904	97.1
他社受電			22,945※	23,282	-337※	98.6※
融　通			-5,988※	-7,081	1,093※	84.6※
揚水用動力			-47	-56	9	83.4
発受電合計			81,070※	82,209	-1,139※	98.6※
出水率			85.6	98.7	-13.1	-

※新電力に対するインバランスなど未確定値を含みます。

以　上